

## 子どもたちの声

- ・いま福島はどうなっているのかを学びました（小学5年生）
- ・取材先でホールボディ検査などの体験をしてとても楽しかった（小学5年生）
- ・専門的な言葉を使わず、他の人が分かるように伝えるように記事を書くことを学んだ（中学1年生）
- ・メモもれがないように集中して話を聞きました（中学1年生）
- ・楽しかったので来年も参加したいです。いろいろな人と交流できて楽しかった（小学6年生）
- ・震災による被害や被災者の声を学ぶことができた（中学1年生）
- ・言葉がわずかにちがうだけで印象がとても変わることが学びました（小学6年生）
- ・記者さんの思いや大変さを学ぶきっかけとなった（中学1年生）
- ・双葉町は具体的にどのように復興しているのか学ぶことができた（中学1年生）
- ・記者の仕事に興味が持てました（小学5年生）
- ・福島を見つめ直す良い機会になりました。風化が進む中、震災の悲惨さだけでなく、新たに生まれ変わる福島を知ることができ、良かったです（高校2年生）
- ・どうやったら読む人が興味をもつか考えながらやることを学びました（中学1年生）
- ・震災の記憶を伝承していく施設（伝承館やコミュタン福島等）の存在を小学生など子どもに教える機会を増やしていくことが大切だと思う（中学2年生）
- ・ジャーナリストは多くのことを経験できる有意義な仕事だと学べた（小学6年生）
- ・次世代に語りついだり、資料にして残したりすることをしたい（小学6年生）
- ・取材内容をまとめたり人との交流をできたりしてとてもいい経験になりました（中学1年生）
- ・メモの取り方、聞き方、まとめ方、伝承することの大切さを知りました（中学1年生）
- ・あの池上さんに会えるなんて一生に一度あるかもわからないので、今回教えてもらった内容を元にさらに成長していきたい（中学1年生）
- ・事実を事実として誤解なく正確に伝えることの重要性を学んだ（高校1年生）
- ・この文章は本当にあってるか、電話をして確認することができた（高校1年生）
- ・復興にむけていろいろな取り組みをしているということを学んだ（小学5年生）
- ・未来のエネルギーとして注目されている水素を利用するにあたっての課題解決の方法を学んだ（中学2年生）
- ・震災は経験していないけど深く知ることができた（中学2年生）
- ・「来年は受験生だけど、絶対にまた参加したい」と思うほど、面白くて興味深い4日間になった（中学2年生）
- ・復興はまだ終わっていない。未だ除去土壌は残っている。知って伝えることが大事（中学2年生）
- ・ふだんは入れないような場所に入れたり、知らなかったことをたくさん知れたりして楽しかったです（中学3年生）